

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東北財務局長

【提出日】 2020年8月14日

【四半期会計期間】 第44期第3四半期(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

【会社名】 株式会社トスネット

【英訳名】 TOSNET CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 氏家 仁

【本店の所在の場所】 宮城県仙台市宮城野区宮城野一丁目10番1号

【電話番号】 (022)299-5761(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経理財務統轄部長 朽木 雄二

【最寄りの連絡場所】 宮城県仙台市宮城野区宮城野一丁目10番1号

【電話番号】 (022)299-5761(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経理財務統轄部長 朽木 雄二

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第43期 第3四半期 連結累計期間	第44期 第3四半期 連結累計期間	第43期
会計期間	自 2018年10月1日 至 2019年6月30日	自 2019年10月1日 至 2020年6月30日	自 2018年10月1日 至 2019年9月30日
売上高 (千円)	7,874,716	7,545,494	10,761,220
経常利益 (千円)	654,886	381,074	1,023,172
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	402,642	196,603	636,407
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	352,633	202,594	587,326
純資産額 (千円)	5,394,636	5,714,055	5,629,328
総資産額 (千円)	8,061,517	8,332,620	8,464,004
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	85.12	41.56	134.54
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	66.91	68.57	66.50

回次	第43期 第3四半期 連結会計期間	第44期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日
1株当たり四半期純利益 又は四半期純損失金額 (円)	27.35	3.45

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大により、当社の業績および財政状態に影響を及ぼす可能性があり、引き続き注視してまいります。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間における当グループの財政状態、経営成績（以下、「経営成績等」という。）の状況の概要は次のとおりであります。

#### （1）財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間（2019年10月1日から2020年6月30日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、個人消費が落ち込み極めて厳しい状況となりました。5月半ば以降、緊急事態宣言の段階的な解除を受けて持ち直しの動きが見られますが、依然深刻な状況が続いております。

当警備業界におきましても、警備サービスに対するニーズは底堅いものがあるものの、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベント、コンサート等の中止、延期が相次ぎ、先行きも不透明な状況であることから、厳しい経営環境が続くものと予想されております。

このような状況のもと、当社グループは主力の交通誘導警備、雑踏警備、施設警備及び列車見張り警備の受注拡大、商材等の販売により、当社グループの中核となる事業の展開を図り、業容の拡大と収益力の強化に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は7,545百万円（前年同四半期比4.1%減）、営業利益は273百万円（前年同四半期比55.1%減）、経常利益は381百万円（前年同四半期比41.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は196百万円（前年同四半期比51.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### （警備事業）

警備事業は、交通誘導警備、施設警備、列車見張り警備等を行っております。警備事業の売上高は6,669百万円（前年同四半期比0.8%減）、セグメント利益は63百万円（前年同四半期比73.5%減）となりました。警備事業の業務別売上高の状況は以下のとおりです。

##### 交通誘導警備

交通誘導警備につきましては、警備業者間の価格競争は依然として厳しい状況にありますが、イベント警備、駐車場警備等へ積極的に取り組み、当部門の売上高は4,272百万円（前年同四半期比2.2%増）となりました。

##### 施設警備

施設警備につきましては、当社グループの重要商品と位置付け、首都圏を中心に積極的な営業展開をしましたが、当部門の売上高は1,810百万円（前年同四半期比7.7%減）となりました。

##### 列車見張り警備

列車見張り警備につきましては、比較的利益率が高いことから当社グループの注力商品の一つと位置付けており、当部門の売上高は408百万円（前年同四半期比7.0%増）となりました。

(ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業は、ビルメンテナンス、清掃業務及び労働者派遣業務等を行っております。ビルメンテナンス事業の売上高は115百万円(前年同四半期比2.8%減)、セグメント利益は3百万円(前年同四半期は0百万円の損失)となりました。

(メーリングサービス事業)

メーリングサービス事業は、メール便発送取次業務、販促品・サンプル等の封入・梱包及び発送取次業務等を行っております。メーリングサービス事業の売上高は435百万円(前年同四半期比15.8%減)、セグメント損失は4百万円(前年同四半期は1百万円の損失)となりました。

(電源供給事業)

電源供給事業は、各種イベント及びコンサート関連の仮設電源の提供・テレビ局関係の中継のバックアップ等各種電源需要への電源提供業務を行っております。今回の新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント、コンサート等の中止、延期のため、電源供給事業の売上高は325百万円(前年同四半期比36.6%減)、セグメント損失は127百万円(前年同四半期は38百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ131百万円減少し、8,332百万円となりました。

この主な要因は、有形固定資産が111百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が183百万円減少したことによるものです。

負債は前連結会計年度末と比べ216百万円減少し、2,618百万円となりました。この主な要因は、未払消費税等が56百万円増加したものの、未払法人税等が182百万円、長期借入金が109百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比べ84百万円増加し、5,714百万円となりました。この主な要因は、株主に対する配当金118百万円がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益として196百万円計上したことにより、利益剰余金が78百万円増加したこと等によるものです。この結果、自己資本比率は68.5%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	7,000,000
計	7,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年8月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	4,732,600	4,732,600	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	4,732,600	4,732,600		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2020年4月1日～ 2020年6月30日		4,732		782		766

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,729,400	47,294	
単元未満株式	普通株式 700		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	4,732,600		
総株主の議決権		47,294	

- (注) 1. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社の保有する自己株式3株が含まれております。  
2. 当第3四半期会計期間末現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社トスネット	宮城県仙台市宮城野区宮 城野一丁目10番1号	2,500		2,500	0.05
計		2,500		2,500	0.05

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年10月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,817,979	3,858,617
受取手形及び売掛金	283,173	99,343
警備未収入金	1,157,185	990,958
仕掛品	173	73
原材料及び貯蔵品	67,850	88,286
その他	127,081	218,240
貸倒引当金	3,306	3,020
流動資産合計	5,450,138	5,252,499
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	380,519	375,183
土地	1,321,508	1,322,189
その他	196,364	312,230
有形固定資産合計	1,898,391	2,009,603
<b>無形固定資産</b>		
のれん	362,868	278,372
その他	29,298	27,817
無形固定資産合計	392,166	306,190
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	314,939	314,812
投資建物（純額）	4,088	3,630
投資土地	72,085	72,085
会員権	3,703	3,703
繰延税金資産	140,772	159,287
その他	195,170	218,727
貸倒引当金	8,739	8,967
投資その他の資産合計	722,018	763,279
固定資産合計	3,012,577	3,079,073
<b>繰延資産</b>		
開業費	1,288	1,046
繰延資産合計	1,288	1,046
資産合計	8,464,004	8,332,620

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	160,712	145,712
未払法人税等	222,940	40,838
未払消費税等	148,435	204,831
未払費用	615,491	595,411
賞与引当金	93,071	154,552
その他	262,661	211,079
流動負債合計	2,003,312	1,852,425
<b>固定負債</b>		
長期借入金	483,720	374,436
退職給付に係る負債	270,298	277,596
繰延税金負債	342	-
その他	77,003	114,106
固定負債合計	831,363	766,139
負債合計	2,834,675	2,618,564
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	782,930	782,930
資本剰余金	766,550	766,550
利益剰余金	4,048,941	4,127,677
自己株式	773	773
株主資本合計	5,597,647	5,676,383
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	47,737	48,016
退職給付に係る調整累計額	16,057	10,343
その他の包括利益累計額合計	31,680	37,672
純資産合計	5,629,328	5,714,055
負債純資産合計	8,464,004	8,332,620

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)
売上高	7,874,716	7,545,494
売上原価	5,241,280	5,130,224
売上総利益	2,633,435	2,415,270
販売費及び一般管理費	2,024,390	2,141,974
営業利益	609,045	273,296
営業外収益		
助成金収入	16,758	69,581
受取賃貸料	20,366	20,790
投資有価証券運用益	849	383
その他	15,353	25,678
営業外収益合計	53,327	116,433
営業外費用		
支払利息	5,711	5,616
その他	1,775	3,039
営業外費用合計	7,486	8,655
経常利益	654,886	381,074
特別利益		
投資有価証券売却益	106	-
固定資産売却益	38	27
特別利益合計	145	27
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前四半期純利益	655,031	381,101
法人税、住民税及び事業税	263,056	202,505
法人税等調整額	10,667	18,006
法人税等合計	252,389	184,498
四半期純利益	402,642	196,603
親会社株主に帰属する四半期純利益	402,642	196,603

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	402,642	196,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57,228	278
退職給付に係る調整額	7,220	5,713
その他の包括利益合計	50,008	5,991
四半期包括利益	352,633	202,594
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	352,633	202,594

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
減価償却費	57,874千円	74,575千円
のれんの償却額	86,632千円	84,496千円

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、国内外の実体経済に大きな影響が生じております。5月半ば以降、緊急事態宣言の段階的解除を受けて持ち直しの動きがみられますが、先行きの不透明感の強まりを受け、企業の投資姿勢も慎重です。

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の影響については、イベント、コンサート等の中止、延期により大きな影響を受けており、新型コロナウイルス感染症の収束時期はいまだに予測することができませんが、連結業績に与える影響は限定的であると見込んでおります。このような前提を基礎として、会計上の見積りを行っております。

また、新型コロナウイルスの感染症拡大による影響は不確実性が高く、今後の経過によっては、さらに当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年12月20日 定時株主総会	普通株式	118,252	25.0	2018年9月30日	2018年12月21日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年12月20日 定時株主総会	普通株式	118,252	25.0	2019年9月30日	2019年12月23日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合 計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
外部顧客への売上高	6,725,331	118,706	517,434	513,243	7,874,716
セグメント間の内部売上高又は振替高	112,950	10,681		608	124,240
計	6,838,281	129,388	517,434	513,851	7,998,956
セグメント利益又は損失( )	240,268	8	1,909	38,813	277,163

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	277,163
セグメント間取引消去	331,881
四半期連結損益計算書の営業利益	609,045

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合 計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
外部顧客への売上高	6,669,703	115,298	435,320	325,173	7,545,494
セグメント間の内部売上高又は振替高	83,516	8,674		813	93,004
計	6,753,219	123,973	435,320	325,986	7,638,499
セグメント利益又は損失( )	63,458	3,318	4,938	127,644	65,805

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	65,805
セグメント間取引消去	339,102
四半期連結損益計算書の営業利益	273,296

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり四半期純利益	85円12銭	41円56銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	402,642	196,603
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	402,642	196,603
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,730	4,730

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月12日

株式会社トスネット  
取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 須 永 真 樹 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 島 川 行 正 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社トスネットの2019年10月1日から2020年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年10月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社トスネット及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。